

ふなキッズふれあい図書館だより

１０月号　船城小学校１０月２３日発行



いよいよ読書の秋！
～秋の夜長とおすすめの本～

朝夕の涼しさと共に日が暮れるのも早くなり、すっかり秋めいてきました。

気候が安定して過ごしやすい秋は、集中力が上がり、じっくり読書を楽しむのに最も向いている季節と言われています。

長くなった秋の夜、テレビやゲームを少し休みにして、本を開いてみませんか？今月もみなさんの心を豊かにしてくれるおすすめの本を紹介します。宝探しをするような気持ちで、お気に入りの一冊をぜひ見つけてみてください。



「ふなキッズふれあい図書館」について

《10 月～11 月の開館日》

１０月３０日（金）
１１月　６日（金）
１１月１３日（金）
１１月２０日（金）
１１月２７日（金）

利用時間はいずれの日も
９時 30 分～１２時００分
です。



《利用できる方》

- **船城小学校区在住の方**は、どなたでも利用できます。
- 丹波市図書館とも連携して大人対象の本も豊富にご用意しています。

《利用するときの手順》

- **職員室内にいる教職員に声をかけてください。**
- 受付簿に記入の上、児童昇降口からお入りください。
- 図書館は２階です。中央階段をお上がりください。



【裏面につづく】

校長先生おすすめの本

今回も１・２年生向け、３・４年生向け、５・６年生～大人向けの本（３冊＋１冊）を紹介しています。どれも学校図書館にある本です。

１・２年生向け

『かいじゅうたちのいるところ』
（モーリス・センダック 作／じんぐうてるお 訳）

タごはんぬきでへやにほうりこまれたマックスが、かいじゅうたちの島に出かけるお話です。私が小さいときにこれを読んで、「なんで？」とふしぎに思ったところがたくさんあったのを思い出します。世界中で読み継がれている名作絵本です。

３・４年生向け

『ばけものつかい』（川端誠　作／絵）

ばけものやしきに引っこしてきたがんこなおじいさんと、ばけものたちのやりとりをえがいた落語の絵本です。こわがらせようとして出てきたばけものが、逆におじいさんに用事をいいつけられてしまいます。最後にはばけものの正体もわかります。落語の独特のリズム感がありますので、ぜひ声に出して読んでみてください。

５・６年生～大人向け

『それいけズッコケ三人組』などのズッコケ三人組シリーズ（那須正幹 作／前川かずお 絵）

ハカセ、ハチベエ、モーちゃんの個性豊かな３人が繰り広げる人気のシリーズです。私はこのシリーズ全部（50 巻？）は読めていないのですが、１作目の『それいけズッコケ三人組』や、会社経営に挑戦する『うわさのズッコケ株式会社』など、図書館にあるどの巻を読んでも面白いと思います。「昭和」時代の小学生の様子が今とだいぶ違うところも新鮮です。高学年のみなさんはもちろん、大人の方にも、ぜひもう一度手に取ってほしい本です。親子で同じ本を読んで、思い出や感想を語り合ってみませんか？